

水戸市議会報

令和4年

9月定例会

No.241

2022年11月1日号

地産地消の推進に関する 条例を制定

- 可決した議案…………… 2
- 代表質問…………… 3～5
- 一般質問…………… 6～9
- 常任・特別委員会報告… 10, 11



県立歴史館(緑町2丁目)のイチョウ並木。例年、11月上旬から中旬にかけて、約50本のイチョウが黄葉の見頃を迎え、美しい彩りで訪れた人の目を楽しませてくれます。

定例会あらまし



会期

9月5日から28日までの24日間

議員質問

- ・代表質問6名
- ・(3~5ページ参照)
- ・一般質問13名
- ・(6~9ページ参照)

委員会付託議案

- (1)各常任委員会、新市民会館整備等調査特別委員会、決算特別委員会及び公営企業会計決算特別委員会における議案等の審査
- (2)各常任委員長、新市民会館整備等調査特別委員長、決算特別委員長及び公営企業会計決算特別委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告
- (10~11ページ参照)

人事案件

- ・市長追加提出の人事案件8件を同意(下段参照)

意見書

- ・議員提出の意見書4件を可決(9ページ参照)

請願・陳情

- (1)文教福祉委員長による請願審査結果の報告
- (2)令和4年請願第1号をみなし採択(9ページ参照)
- (3)陳情の閉会中継続審査を決定

議員派遣

- ・全国市議会議長会研究フォーラム等への議員派遣を決定

閉会中所管事務調査

- ・各常任委員会等の閉会中所管事務調査を決定

議員辞職

- ・木本信太郎議員から願ひ出のあった9月30日限りでの議員辞職を許可



本会議の様子

可決した議案



今定例会で可決した主な議案を紹介します。

市長提出議案	計	24件
令和4年度補正予算	3件	
条例の改正	6件	
その他	15件	

公園墓地条例の一部改正

浜見台霊園の合葬式墓地^{※1}の整備に伴い、使用許可要件や使用料等を定めるもの

財産の取得

市民会館の舞台音響機器等を取得するもの

令和4年度一般会計補正予算(4号)

◆補正総額 19億6311万2000円増

主な事業

- ・低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金(追加支給)
- ・医療機関緊急支援
- ・福祉施設緊急支援
- ・畜産農家緊急支援
- ・農業担い手緊急支援(第2次)
- ・経済振興・子育て支援プレミアム商品券発行事業
- ・まちなかシェアサイクル事業

令和4年度農業集落排水事業会計補正予算(1号)

◆補正総額 1000万円増
農業集落排水処理施設使用料を従量制に変更することに伴い、農家等を対象に、排除汚水量を認定するための私設置水器の設置に係る補助を行うもの

人事

- 水戸市教育委員会委員 鬼澤真寿(任命)
- 水戸市公平委員会委員 田中美和(選任)
- 水戸市監査委員 水庭清隆(再任)
- 水戸市職員懲戒審査委員会委員 陶山二郎(今関裕夫)
- 荒井幸(再任)
- 鈴木大輔(大内康弘)(選任)

議員提出議案

1件

地産地消の推進に関する条例

市内農産物等の将来にわたる安全で安心な供給体制を構築し、もって本市産業の持続的な発展及び市民の健康的で豊かな生活の形成に寄与することを目的とし、新たに制定するもの



※1 合葬式墓地…1つの大きなお墓に多数の焼骨を一緒に埋蔵(合葬)するタイプの墓地

魁、水戸

塚本 孝雄

4期目に向けた考え方と 第7次総合計画等の推進は

Q 市長はこれまで歴代市長が苦慮してきた難題を解決し、3期12年を迎えようとしている。コロナ対策、中心市街地活性化、地価下落、人口減少、少子化対策、企業誘致、SDGsへの転換などの課題が山積する中、4期目に向けた考え方と第7次総合計画の策定に向けた基本的な考え方を伺いたい。

A 取り組むべき課題がある中、市政の状況や市民からの声を受け止め、次期市長選挙への出馬を決意した。総合計画の策定基本方針として、「子育てしやすいまち」、「安全・安心を実感できるまち」、「経済が発展するまち」の三つの視点に重点を置いた計画づくりを進める。目指す最重要政策は子育て支援である。また、財務体質の強化を図り、行政改革を着実に推進しながら安定的な行政運営を目指す。

父母負担を軽減する 子育て関連施策の推進を

Q 全国的に出生数の減少が深刻化する中、子育て関連施策の一番の課題は父母負担軽減と考える。0歳2歳児の保育料無償化や小中学校

の給食費無償化、小中学校の入学祝い金等の実施に向けた考え方について伺いたい。また、国に先駆けたことも部設置と令和5年度の本市の考え方を伺いたい。

A 保護者の経済的な負担の軽減と相談・支援の充実を二つの柱とした「子ども・子育て支援パッケージ」の構築に向け、施策の立案を進めている。議員提案の学校給食費や保育所利用者負担金の無償化は、非常に優先度が高いと認識しており、入学祝い金も大変意義があると考えている。これまで以上に子ども・子育て支援に集中投資していく決意であり、施策の選定に当たっては、優先度や財源配分等を十分に精査した上で、令和5年度から着実に実施する。



その他の質問

- コロナウイルス終息までの保健所体制は
- 地元業者の育成と工事発注率は
- 大規模大会等の誘致に向けた助成策は
- 借入団表門活用によるリピーター増加策は
- 中高一貫教育や中学校での進学対応は

公明党水戸市議会

黒木 勇

結婚と出産の相談体制強化と 子育て世帯への経済的支援を

Q 令和3年の出生数は過去最少を更新し、合計特殊出生率は1.3にまで落ち込んだ。少子化対策として、経済的な支援の充実等で結婚や出産を後押しするとともに、社会全体が子育てに優しいと感じられるよう、少しずつの気遣いを多くの人々が持つことが重要である。また、経済的支援として給食費無償化の検討を進めていくべきと考える。それぞれ見解を伺いたい。

A 婚姻届を提出した夫婦に、住宅取得等に係る費用を補助するほか、県央9市町村が協力して結婚を希望する方々に出会いの場を提供する。また、保護者の経済的な負担の軽減と相談・支援の充実を二つの柱とした「子ども・子育て支援パッケージ」の構築に向け、施策の立案を進めている。これまで以上に子育て支援に予算配分を大きくシフトし、集中投資していく決意である。給食費無償化は、非常に優先度が高いものと認識している。

新市民会館と東町体育館の コンベンション機能強化を 持続可能なまちづくりに向け、新

市民会館等で構成されるミトリオ^{※2}と東町運動公園体育館との連携によるコンベンションや大規模イベント誘致を可能にする企画運営が必要となる。そのためには市役所庁内の司令塔となる部署を明確にし、一体的にまとめ上げること、その上で民間企業団体との連携を図ることが必要と考えるがどうか。

A 市のコンベンション事業の統括者として市民協働部に担当職員を配置するなど体制強化を図ってきた。また、新市民会館周辺にぎわい推進協議会には商工会議所や観光コンベンション協会も参加していることから、適宜、交通や観光の事業者等から助言をいただくなど、民間活力を最大限に生かすための連携体制を強化していく。



来年7月に開館予定の新市民会館

その他の質問

- 運転免許証返納者等の移動手段支援について
- 認知症に関する相談体制・生活支援の強化を
- 水戸南1C周辺の企業誘致へ向けた用地確保を
- 借入団・千波湖周辺整備における県との連携強化を
- 千波湖の更なる魅力向上のため水質浄化の取組を



誠和会



みと町内会・自治会カードの発行状況と今後の展開は

Q 過去の質問で協力店舗数の増加を要望し、今夏から大手スーパーなども協力店に加入いただいた。日常的に利用する店舗で割引を受けられ、町内会に入会するメリットを感じてもらえているものと考えているが、さらに協力店を増やし、今よりも気軽にどこでも使えるカードを目指すべきである。これまでのカード発行数や評価、優待制度の拡充に向けた考えを伺いたい。

A 発行数は一世帯1枚で約6万8千枚である。カードの魅力向上には利便性の高い店舗の確保とサービス内容の充実が必要と認識しており、今年度は協力店舗募集のチラシを約6千枚配布するなどの取組を行っている。協力店舗が増え、市民から問い合わせや感謝の声が届いている。町内会・自治会により多く入会してもらえようカードの更なる魅力向上に取り組む。

災害時の燃料確保に向けた対策強化と自家用給油所の設置を

Q 災害が激甚化している近年においては、災害時の燃料確保に向けた

対策の強化が必要である。日立市は平成24年に自前の給油所を設置し、災害時に応急活動を行う車両が給油できるよう対策を講じている。本市も自前の給油所を設置し、災害時の公用車、消防団、井戸水協力箇所等施設への安定的な燃料供給に取り組んではどうか。

A 東日本大震災後、県石油業協同組合と石油類燃料の確保に関する協定を締結し、災害時における公用車等の燃料対策を強化している。議員提案の自家用給油所の設置については、自前で燃料を備蓄すること、災害時には幅広い分野において大変有効な対策になると認識している。日立市などへの現地視察を行い、実現に向けて、早期の調査研究に努める。



日立市が設置する自家用給油所

その他の質問

- 市長のこれまでの評価と4期目への抱負を
- 防災・減災に向けた取組と啓発活動は
- 那珂川緊急治水対策プロジェクトの進捗状況は
- 町内会・自治会への加入率低下の影響と課題認識は
- 部活動に係る教職員の勤務実態と地域移行の取組は

フォーラム水戸



総合計画の策定にかける思いは

Q 8月に総合計画策定の基本方針が示された。総合計画は総花的、政策の優先順位が不明瞭、庁内での計画意識の定着等の課題が指摘されている。技術革新に伴う時代の変化が著しい中、これまでとは一線を画す総合計画の策定が地方都市に求められている。総合計画策定にかける市長の思いを伺いたい。

A 「子育てしやすいまち」、「安全・安心を実感できるまち」、「経済が発展するまち」の三つの視点に重点を置いた計画づくりを進め、市民とともに水戸の将来像を描いていきたいと考える。目指す最重要政策は子育て支援である。市民の声を聴きながら、優先的、重点的に取り組むべき施策を定め、優先順位を明確にする。あわせて、水戸ならではの、いい意味でのとがった施策も盛り込み、水戸の個性を際立たせていきたいと考える。

教職員の業務増加とならないフッ化物洗口^{※3}の在り方は

Q 昨年度は、小学校口腔衛生推進事業に係るフッ化物洗口の導入に向け、県内5校でモデル事業を実施

した。モデル事業は短期間で検証が不十分であり、児童が誤飲した際の対応や、劇薬であるフッ化ナトリウムの希釈・保管・管理、教職員の業務増加が課題となっている。今年度、本市でも事業を実施すると聞いているが、業務自体は教育委員会や歯科医師会、薬剤師会が担い、児童に寄り添うことのみを教職員の業務として分担すべきと考える。教職員の業務増加とならないような事業の在り方について、考えを伺いたい。

A 市内モデル校1校でフッ化物洗口を実施予定である。可能な限り教職員の業務増加を抑えられるよう実施方法を精査する。また、実施時の児童への指導支援等を歯科医師会等の関係機関に要望する。



フッ化物洗口(イメージ)

その他の質問

- 次なる経済対策の検討状況は
- 最低賃金引き上げに対する見解は
- 最低賃金引き上げに伴う地元企業対応は
- 政策決定におけるSDGsの位置付けは
- 男女平等参画を推進する新たな施策は

※3 フッ化物洗口…週1回、フッ化ナトリウムを水に溶かした液体を、1分間口に含んで洗口するもの。フッ化物洗口を行うことで、約50～80%の虫歯予防効果があるといわれている。

日本共産党水戸市議団



東海第二原発の再稼働に対し 明確な反対表明を

東海第二原発の再稼働に対し、明確な反対表明を

Q 福島第一原発事故の後始末は、いまだ見通せず、汚染水等の問題も解決していない。再び原発事故が起きれば、手に負えなくなることは誰の目にも明らかである。しかし、首相は突然、国が前面に立つて原発再稼働を推進する旨の発言を重ね、新増設にまで踏み込んだ。東海第二原発も強引に再稼働されるのではと危惧する。本市は、住民理解のない再稼働は認めない立場を鮮明に示してきた。市民の安心安全を守る責任を果たすため、速やかに6市村の協定に基づき、東海第二原発の再稼働反対を明言すべきだがどうか。

A 国の方針は地域の実情を軽視して再稼働を押し進めるものではないと認識している。実効性のある広域避難計画が策定できない限り再稼働はあり得ないという思いは、これまでと変わらない。

1県1水道への明確な反対と 水戸水の小学校への配備を

Q (1)県は県内水道事業を統合して1県1水道を目指す方針を唐突に打ち出したが、これまでの放漫な水

水政会



災害発生時の活動拠点と 避難指示等の周知方法は

災害発生時の活動拠点と避難指示等の周知方法は

Q 災害時のあらゆる状況に備え、市は十分な危機管理対策を講じておく必要があると考える。そこで、災害発生時における防災活動拠点の位置付けと、市民への避難指示等の周知方法について伺いたい。

A 市役所本庁舎を総合防災拠点と位置付け、大規模災害発生時にも機能・役割が継続できる設備等を導入している。また、市内全域の被害状況の把握や、きめ細かな防災活動を推進するため、全市民センターを地域の防災活動拠点施設と位置付けている。市民への周知方法は、防災行政無線や広報車をはじめ、防災ラジオ、ツイッターやフェイスブック等のSNS、緊急速報メール、ヤフー防災速報アプリなどである。新しい手法を積極的に導入し、全市民に早く確実に災害情報を提供できるようにシステムの更なる充実・強化を図る。

A (1)研究会への参加を通じて課題の把握や共有に努め、慎重に検討を進める。(2)水戸水はPR用で割高となっており、また、その製造費等を独立採算制の水道事業で負担することは適切ではないと考える。



水戸水

その他の質問

- 新型コロナウイルス感染者の全数把握見直し後の対応は
- 新市民会館整備計画について
- ・ 税支出の正当性が争われている住民訴訟で証書を
- ・ 不要な上空通路の工事中止と運営方針の見直しを
- 旧統一協会に関する調査と国葬に対する見解は

都市計画道路3・3・2号線 松が丘・西原工区の早期整備を

Q (1)新原・姫子地区の松が丘工区は、国道50号接続箇所の信号が作動し、沢渡川を越える橋梁もほぼ完成し



松が丘工区(国道50号接続箇所の交差点)

その他の質問

- 広域行政の推進に係る取組状況と今後の展望は
- 令和3年度の決算・財政状況とその認識は
- みと未来財政プラン策定の方針と時期は
- 原子力施設事故での避難計画や協定の見直しを
- 市立幼稚園再編方針の取組状況と今後の方向性は

た。残る主な工事は、常磐線を越える橋梁整備である。今後の整備計画と開通見込みを伺いたい。(2) 国道50号から国道118号に接続する区間(西原工区)は、整備されれば市西部からの車両を国道118号方面に円滑に誘導でき、中心市街地や水戸駅前付近の交通渋滞解消につながる。現在の整備状況と今後の計画を伺いたい。

A (1)JR東日本と委託協定を締結し、令和8年度までの委託工事を進めている。今後、河川やアプローチ道路等の整備を行い、11年度の供用開始を目指す。(2)事業主体の県からは、本工区の整備は現在検討中と聞いている。早期着手を県に求めるとともに、近隣市町村と連携を図り、事業の推進に努める。



市立見川幼稚園の
廃止計画の撤回と存続を

庭男
中次

Q 市は64年にわたり住民に親しまれてきた見川幼稚園を来年度末に廃止する方針を示した。これまで3か年実施計画では改築を行うと明記し、住民は大変期待していたところである。園児数が19名以下で増加が見込めないことを廃止の理由としているが、実際は年度当初より増加し、11月には20名になる。中止している園児募集を直ちに実施し、廃止計画の撤回を求める。

A 市立幼稚園への入園希望者が著しく減少しているため、認定こども園への移行を柱とした再編計画を策定し、施策を進めている。一方、園児数減少が著しい園は、教育上望ましい集団保育ができる環境を維持できないことから、利便性を考慮の上、廃止としている。本園も各種分析の結果、利用増加が見込めないため廃止を決定した。



市立見川幼稚園

その他の質問

- 物価高騰対策として水道料金の基本料金免除を
- 生活困窮世帯に対する電気代補助の実施を
- 加齢性難聴者の補聴器購入に補助の実施を

ダイバーシティ推進企業や
団体への表彰を

川理
友

Q 市は、県が提唱する「いばらきダイバーシティ宣言」に賛同し、2月に宣言の登録を行った。いばらきダイバーシティ宣言とは、年齢や性別、国籍、障がいの有無等にかかわらず、誰もが個々の能力を発揮することができ、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現を目指すものである。より人にフォーカスを当て、多様な個々の能力を最大限に発揮し、価値創造に参画した企業や団体を表彰することも、これからの時代には必要と考える。宣言には、「各種団体や事業者と連携をしながら」との記載があることから、ダイバーシティ推進に取り組む市内企業や団体を市で表彰してはどうか。

A 市民一人一人の意識の醸成と行動変容を促すきっかけになり重要である。実施に向けて検討を進める。



いばらきダイバーシティ宣言

その他の質問

- インターネット上で発生する誹謗中傷への対応は
- いばらきパートナーシップ宣誓者への福利厚生を

人口増加などに見合った
笠原市民センターの増改築を

谷一
慎

Q 笠原市民センターは開館から39年が経過した。地区人口は開館当時から1.5倍の1万2244人と市内6番目にまで増えたが、延べ床面積は500㎡に足らず、下から6番目であり、他の市民センターに比べても手狭である。地域からは駐車場拡張の要望が出ており、変則的な交差点などのアクセスの問題、防災機能や地域コミュニティ力の強化も課題と考える。そこで、市民センター総合管理計画の方針を見直し、駐車場の拡張や適地への移転も含めた増改築を検討してはどうか。見解を伺いたい。

A 同施設が狭あいであることは認識している。隣接する土地の所有者の理解・協力が不可欠であり、引き続き、駐車場の拡張に向けた土地の情報収集を行い、長寿命化型改修に向けた検討を進める。



笠原市民センター

その他の質問

- 再び事故を起こさないため市職員の安全管理を
- 首相の原発再稼働発言に対する市の見解は
- 新総合計画の策定に未来シナリオの視点を

図柄入りナンバープレート制度を
導入してはどうか

藤
昭雄

Q 国の地方版図柄入りナンバープレート制度は、地域の魅力を全国に発信する「走る広告塔」の役割が期待され、また、地域振興・観光振興にも活用できるものである。さらに寄附金を設定することで、地域の交通政策、観光振興に資する事業を実施できるなど、行政運営の重要な財源確保につながるため導入すべきである。見解を伺いたい。

A 当該制度は58地域で導入されており、地域振興につながるものと認識している。「水戸」ナンバー管轄区域は20市町村に及んでおり、地域住民の意向を捉えることはもとより、それらを踏まえながら、魅力ある風景や観光資源を活用したデザインの作成・選定など協議を重ね、合意形成を図る必要がある。引き続き、導入に係る費用や課題等の研究を進める。



地方版図柄入りナンバープレートデザインの例

その他の質問

- 那珂川における河川改修の進捗状況は
- 集中豪雨に備えた雨水排水対策は
- 水戸黄門神社周辺の今後の整備方針は

食品ロス削減無人販売機 「f u b o (フーボ)」の導入を



Q 食品ロスは環境悪化や食料危機につながる大きな脅威となっている。県は、廃棄処分になる食品を提供する無人販売機 f u b o を県庁舎内に設置し、取組に参加した本市の菓子メーカーからは、廃棄処分する商品を売り出すことができ、よかったという話を聞いた。本市でも食品ロスの更なる啓発促進のため市庁舎内に f u b o を設置し、SDGs の取組を推進すべきと考える。見解を伺いたい。

A 本市では食品ロス削減に向け、食品受け取り箱「ぎょうなBOX」の設置拡充など事業の展開を図っている。f u b o は食品の流通段階における食品ロスを削減するとともに、市民の食品ロスに対する意識啓発に効果的であることから、県庁舎の事例等を調査し、関係部署と連携しながら検討を進める。



県庁舎内の f u b o

その他の質問

- グリーンライフ・ポイント推進事業を活用した取組を
- 公共施設等男子トイレへのサニタリーボックス設置を

いきいき交流センター 「あかしあ」利用促進に向けた取組を



Q 令和5年度オープンに向け整備中の「あかしあ」は、西部地区の高齢福祉の拠点として、子育て支援機能を加えた多世代交流施設として、完成が待ち望まれる。市民から愛される施設となるよう、利用促進に向けた取組が必要である。(1)立地が市宮河和田住宅の奥で分かりにくいいため案内・誘導の方策について、(2)歩行者の安全性の向上策について、(3)イベント開催時等は駐車場の混雑が考えられるため台数の更なる確保策について伺う。

A (1)国道50号方面と内原方面のどちらから来ても分かるよう、アクセス道路の入口に案内看板を設置する。(2)市宮河和田住宅の敷地の一部を歩行者専用道路として整備するとともに、アクセス道路へのカーブミラー設置を検討する。(3)開館後の利用状況等を踏まえ検討する。



整備中のいきいき交流センター「あかしあ」

その他の質問

- 県道玉里水戸線拡幅に向けた県への要望状況は

プラスチックごみの 分別に対する考えは



Q (1)プラスチック容器包装の分別収集開始から2年半、ごみ量の変化や課題を伺いたい。(2)資源循環促進法が施行され、バケツやおもちゃなど固いプラスチック製品の分別・資源化も求められている。対応方針を伺いたい。(3)市庁舎にはプラスチック容器包装のごみ箱がなく燃えるごみとして処分されている。公共施設では市民と同じ分別を実施すべきだが見解はどうか。

A (1)プラスチック容器包装の収集実績は約1600トンで、燃えるごみは約10%減少した。今後も公式LINE等で情報発信する。(2)プラスチック製品の収集には新たな運搬費用や設備改修が必要となるため慎重に検討する。(3)市庁舎でプラスチック容器包装を新たに分別することは廃棄物減量に有効であり、効果的な分別を検討する。



市庁舎内のごみ箱

その他の質問

- 子育て世帯の経済的負担の軽減を求める
- 学校給食費・保育料・医療費のゼロ実現を
- 千波湖周辺整備に伴い景観への配慮を求める

デジタル田園都市国家構想 推進交付金の活用に向け準備を



Q 国はデジタル田園都市国家構想(デジ田^{※4})を推進するため、先行する自治体の事例を対象に夏のデジ田甲子園という選挙を実施し、その結果を今月公表した。実装部門で準優勝となった前橋市の「マイナンバーカードを活用したタクシーによる高齢者等の移動支援」は、移動困難者の新たな外出機会の創出等に寄与するもので、審査員からも評価されていた。このように本市も行政・まちのDX、デジタル格差解消に向けた対応強化を図るべきであり、国の交付金を活用した事業の準備を進めてはどうか。

A 先進事例を取り入れながら市民ニーズや地域特性に応じたデジタルまちづくりビジョンを今年度中に策定する。国の動向を注視し、補助制度等も活用しながら、デジタル化・DX推進の取組を加速させる。



その他の質問

- 母子手帳アプリの早期導入を
- がん治療による外見変化に対する補助の実施を

※4 デジ田…デジタルの力で地方の個性を生かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図り、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指すもの。



**第4次農業基本計画の実績と
次期計画の方向性は**

飯田 正美

Q (1)市は平成27年度に第4次農業基本計画を策定し、持続可能な農業の実現に向けて各施策を実施してきた。来年で計画が終了となることから、これまでの取組の実績を伺いたい。(2)近年農業を取り巻く環境が一層厳しくなる一方、生産面ではスマート農業技術の普及による省力化が急速に進んでいる。

A (1)令和3年度の新規就農者が12名、認定農業者は275経営体で目標を上回った。また、同年度の学校給食の地場農産物使用割合が72%超となるなど、一定の成果が出ている。(2)麦・大豆や自給飼料の増産、環境に配慮した生産体制に取り組みとともに、担い手の確保・育成や経営の効率化を図っていく。



稲刈り

その他の質問

- コミュニティ担当職員の再配置を
- 市民センターは市直営での運営継続を
- 会計年度任用職員へのハラスメント対策の徹底を

**免疫を喪失した子どもに対し
ワクチン再接種の助成を**

高倉 富士男

Q 小児がん等の治療として抗がん剤投与や骨髄移植等を受けることで、以前に受けた定期予防接種の免疫効果が喪失してしまい、ワクチンの再接種が必要となる場合がある。

A 今年度から再接種費用に対する補助金交付制度を開始することとした。現在、補助対象者や要件等、種々制度設計を進めており、準備が整い次第、早急に実施する。

Q (要望)治療法による対象の可否が生じない制度設計への配慮や、丁寧な制度周知をお願いする。



ワクチン再接種(イメージ)

その他の質問

- 生ごみ・剪定枝等の再資源化に係る見解は
- EV等クリーンエネルギーカー導入促進を
- 各種がん検診の受診率向上の取組は

**大場市民センターの
移転改築に向けた見解は**

小川 勝夫

Q 大場市民センターでは平成9年の開館当初から地盤沈下が始まり、25年経過した現在も沈下が続いている。また、もともと沼地のため、雨が降るとすぐ駐車場に水たまりができ、ゲリラ豪雨ともなると湖のように浸水して使用できない状況となっている。この上なく不便であり、利用者から苦情等が寄せられている。早急に盛土や地盤改良等の抜本的な解決を図るべきと考える。また、別な土地への移転改築についての見解も伺いたい。

A 市民センター総合管理計画に基づき、当面は応急的な修繕を行いながら地盤沈下の経過を随時観察し、移転を含め、改築に向けた検討を進める。今後は地域の意向を把握しながら用地等の情報収集に努め、具体的な整備内容や時期について新たな総合計画を踏まえ決定する。



大場市民センター

その他の質問

- 那珂川、迺沼川の防災・減災対策は
- 企業誘致の取組と今後の誘致促進策は
- 県庁南大通り線沿道区域の土地利用計画は

**狭あい道路の抜本的な
整備手法の見直しを**

五十嵐 博

Q 狭あい道路の整備は、日常生活の通行上の課題だけでなく、災害時の安全性の課題等からも非常に市民要望の高い事業である。(1)今後は整備期間の短縮が最大の課題と認識しており、抜本的な整備手法の見直しを早急に検討すべきと考える。見解を伺いたい。(2)現在の待機路線数の状況等、現状と今後の取組について伺いたい。

A (1)効率的・効果的な執行体制の強化や工夫と、国庫補助金等の財源確保に努め、整備期間を短縮できるように事業の推進に取り組む。(2)要望数366路線のうち220路線が完成し、91路線が未整備となっている。今後の整備に要する費用と期間については、現時点で試算費用が45億円であり、整備完了までには約11年強を要する見通しである。



狭あい道路の拡幅整備前と整備後

その他の質問

- 公共施設における感染防止対策は
- 飯富局前バス停留所の移設に対する見解は

内原駅の橋上化後における 周辺道路等整備への見解は

あんぞう
蔵
さかえ
栄

Q (1)内原駅の橋上化は当該地域の発展に大きく貢献するものと期待されており、ついに完成間近となった。一方で、駅南口の交通広場やそれに付随する駐輪場等は未整備の状態である。北側自由通路を含めた周辺整備のスケジュールを伺いたい。(2)市道内原8-0207号線は幅員が狭く、車の対面通行は不可能な状況である。歩行者等の安全確保と利便性向上のため、拡幅など早期の対策を求めらる。

A (1)橋上駅舎や南北自由通路の工事は順調に進んでおり、11月26日の供用開始を見込む。北側自由通路の工事は令和5年度に着手予定であり、南口駅前広場や駐輪場については6年度の工事着手、7年度の供用開始を目指す。(2)本路線の在り方について地元と対話を行いながら、整備方針を検討していく。



内原駅南口の完成イメージ図

その他の質問

- 資材価格高騰から農業者を守るため強力な支援を
- 新規就農希望者への支援と担い手確保の取組は
- 子どもの読書離れの現状と市の対応策は

可決した意見書



議員提出議案として、次の意見書を可決しました。

- 1 地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書
- 2 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書
- 3 食料自給率の向上を求める意見書
- 4 教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書



請願の結果



【みなし採択】

○令和4年請願第1号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書提出を求める請願

本請願については、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書が可決されたことに伴い、採択とみなす取り扱いとした。



各党派等の構成メンバー

党派等の構成が変更になりました。
(令和4年10月1日現在)

葵会	無所属	立憲みと	水政会	フォーラム水戸	日本共産党水戸市議団	誠和会	魁、水戸	公明党水戸市議会
会長兼会計	会長兼会計	代表 幹事長兼会計	会長 副会長	代表 副代表	団長 幹事長	顧問 会長	会長 副会長兼会計	顧問 代表 幹事長 副幹事長兼会計
小川勝夫	田口文明	滑萩友理	福内藤原隆	佐藤昭健	田中真己	松本勝久	渡辺通政	五十嵐勇博

文教福祉委員会



令和4年度一般会計補正予算 (文教福祉委員会所管分)

主な質疑 生活支援特別給付金の対象者数と支給方法, 福祉施設及び医療機関緊急支援金の対象施設と支給基準など。

主な意見 (1)生活支援特別給付金については, 対象者へ確実に支給されるよう, 周知の徹底を図るなど丁寧な対応に努められたい。(2)福祉施設及び医療機関緊急支援金については, その効果を高めるため早急な支給に努められたい。(3)福祉施設緊急支援金については, 施設建設時における公的補助の経緯など, 施設の経営状況を踏まえた上で, 支給基準を決定されたい。(4)今回対象とならなかった通所施設に対する支援についても検討されたい。

全会一致 賛成

建設企業委員会



令和4年度農業集落排水事業会計補正予算

主な質疑 農業集落排水処理施設使用料を従量制に変更することに伴い, 農家等を対象に, 排除汚水量を認定するための私設量水器の設置に係る補助について, 補正予算の積算根拠, 対象世帯数, 対象地区への周知方法など。

主な意見 制度のしくみや変更点について, 丁寧な周知に努められたい。

全会一致 賛成

新市民会館整備等調査特別委員会



財産の取得(水戸市民会館舞台音響機器等)

主な質疑 参考品の選定に係る専門事業者からの助言及び実地調査, 入札参加資格の要件, 機器設置における本件契約者と舞台音響施工者との役割, 機器の補償期間など。

主な意見 舞台音響機器等の設置に当たっては, 本来の機能が十分に発揮されるよう, 舞台音響施工者の協力の下, 細心の注意を払って実施されたい。

賛成多数

総務環境委員会



公園墓地条例の一部改正

主な質疑 浜見台霊園の合葬式墓地の収容可能数及び使用見込み, 使用許可の対象範囲, 必要な手続き, 納骨後の管理方法, 使用料の取り扱いなど。

主な意見 (1)合葬式墓地の管理を初めて実施するに当たり, 今後の社会状況の変化を注視しながら, 市民サービスの向上に資する運営に努められたい。(2)当該事業の実施に当たっては, 需要の更なる増加が見込まれることから, 今後, 市民アンケートを実施するなど市民ニーズの把握に努め, 将来にわたって埋蔵を希望する全ての方が使用できるよう, 十分に留意されたい。また, 必要に応じて埋蔵スペースの拡充を図るなど, 柔軟な対応に努められたい。

全会一致 賛成

産業消防委員会



令和4年度一般会計補正予算 (産業消防委員会所管分)

主な質疑 畜産農家緊急支援金及び農業担い手緊急支援金の支給対象となる農家への周知方法, 支給条件及び支給見込み件数の設定根拠, プレミアム商品券の事業実績など。

主な意見 (1)支援金については, 対象者への周知徹底と申請手続の簡略化に努め, 早急に支給されたい。(2)畑地耕作者への支援については, より多くの農家が対象となるよう, 柔軟な対応を検討されたい。(3)畜産業は, 特に厳しい経営状況に直面していることから, 今後においても, 国や県等の関係機関と連携しながら, 継続的な支援を検討されたい。(4)肥料価格高騰への対策として, 農業集落排水汚泥コンポストの有効活用を検討されたい。(5)長期化する新型コロナウイルス感染症の影響や今後の世界情勢等を注視しながら, 市内経済の回復に向けた総合的な取組を検討されたい。

全会一致 賛成

公営企業会計決算特別委員会



令和3年度水道事業会計及び下水道事業会計 決算の認定

主な意見

●水道事業会計について (1)市民が安心して水道水を利用できるよう、引き続き放射性物質を含む水質検査を実施し、検査結果の適切な公表、周知に努められたい。(2)有収率の向上に向け、漏水調査を継続的に実施し、漏水箇所の早期発見と早期修理に努められたい。(3)未利用財産については、引き続き売却や貸し付け等の取組を進め、維持管理費の抑制に努められたい。(4)今後もアセットマネジメントの精度向上を図り、老朽化した管路等の更新や耐震化など、施設の適切な維持管理に努められたい。また、水管橋の点検に当たっては、目視点検だけではなく、新たな点検方法の導入も検討されたい。(5)おいしい水の安定供給に向け、水質管理体制を強化し、水道水の臭気対策に努められたい。

●下水道事業会計について (1)浄化センターの消化ガス発電システムについては、地球温暖化防止対策にも大変有効であることから、引き続き適切な維持管理を行い、安定した運用に努められたい。また、本事業に関する積極的な広報を行い、下水道事業に対する市民理解の醸成を図られたい。(2)用途廃止となった下水道施設については、老朽化した残存施設の解体撤去など、適切な安全管理を行った上で、土地の売却処分を進められたい。(3)下水道施設の管理に当たっては、ストックマネジメント計画に基づき、優先度を考慮しながら予防保全型の維持管理を行い、施設の長寿命化を図られたい。

賛成多数

委員構成

委員長	木本信太郎	副委員長	森 正慶
委員	萩谷 慎一	委員	田中 真己
//	綿引 健	//	後藤 通子
//	黒木 勇	//	大津 亮一
//	内藤 文男	//	栗原 文隆
//	小川 勝夫	//	松本 勝久

決算特別委員会



令和3年度一般会計及び特別会計決算の認定

主な意見

●歳入について (1)税の公平性の視点から、市税に係る収納対策の強化を図り、収納率の更なる向上に努められたい。また、納税が困難な場合には、きめ細かな納税相談を実施するなど、丁寧な対応に努められたい。(2)未利用財産については、民間への売却等を積極的に実施し、財源の確保と維持管理費の縮減を図られたい。(3)水戸黄門ふるさと寄附金については、本市の魅力向上や産業振興に資する返礼品の選定に努めるとともに、寄附額の増加に向けた取組を推進されたい。

●歳出について (1)1,000円タクシー運行事業については、高齢者等の交通弱者の移動手段として需要の増加が見込まれることから、対象地区の更なる拡大や利用者負担の軽減等を検討されたい。(2)防災無線機については、災害時における市民の安全確保に大変有効であることから、引き続き計画的な配備と効果的な運用に努められたい。(3)市民の健康を守るため、がん検診の受診率向上に向けた取組の更なる強化を図られたい。(4)コロナ禍や物価高騰等の影響により、厳しい経営状況に直面する農業従事者への支援が確実に行き届くよう、適切な予算の執行に努め、不用額の縮減を図られたい。(5)市内道路の欠損については、事故の未然防止のため、市民からの通報はもとより、庁内の関係各課で緊密な連携を図りながら状況把握に努められたい。

賛成多数

委員構成

委員長	飯田 正美	副委員長	鈴木 宣子
委員	滑川 友理	委員	土田記代美
//	中庭 次男	//	佐藤 昭雄
//	田口 文明	//	袴塚 孝雄
//	五十嵐 博	//	安藏 栄
//	田口 米蔵	//	福島 辰三

※両決算特別委員会の委員には、議長(須田浩和)及び監査委員(高倉富士男、渡辺政明)を選任しない。

議会日誌

7/1	新市民会館整備等 調査特別委員会	8/24	産業消防委員会 建設企業委員会 全員協議会 新市民会館整備等 調査特別委員会	9/16	文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 新市民会館整備等 調査特別委員会
7/8	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 全員協議会 代表者会議 議会報編集委員会	8/29	行財政改革調査特別委員会	9/20	決算特別委員会 公営企業会計決算特別委員会
7/21	文教福祉委員会	9/5	本会議 決算特別委員会 公営企業会計決算特別委員会	9/21	決算特別委員会 公営企業会計決算特別委員会
8/10	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 全員協議会 代表者会議	9/12	本会議	9/22	決算特別委員会 公営企業会計決算特別委員会
8/24	総務環境委員会 文教福祉委員会	9/13	本会議	9/26	議会運営委員会
		9/14	本会議	9/28	議会運営委員会 全員協議会 本会議 議会報編集委員会
		9/15	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会		
		9/16	総務環境委員会		

議会を見よう

本市議会では、インターネットでの本会議のライブ配信及び録画配信、常任委員会の録画配信を行っています。

また、常任委員会及び特別委員会の会議記録も公開しておりますので、ぜひご覧ください。



議会中継



委員会会議記録

傍聴のご案内

本市議会では、本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。

各会議の傍聴を希望する方は、下記を参考にお越しください。※マスクの着用等にご協力願います。

	本会議	議会運営委員会、 常任委員会等	特別委員会等
定員	104名 (うち車椅子利用の方は4名)	5名	10名
受付場所	8階(傍聴席入口)	7階(議会事務局)	
手続き	・当日、先着順 ・傍聴券に住所、氏名を記入	・開議予定時刻の40分前～10分前までに受付 (定員を超えたときは抽選) ・委員会傍聴申請書に住所、氏名を記入	

12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30	12/1	2	3
4	5 本会議 (提案理由説明) 議案説明会	6	7	8	9	10
11	12 本会議 (代表質問)	13 本会議 (代表質問) (議案質疑) (一般質問)	14 本会議 (一般質問)	15 常任委員会	16 常任委員会	17
18	19 議会運営委員会	20 議会運営委員会 全員協議会 本会議 (議了)	21	22	23	24

※12月6～11、17～19日は議案調査

編集委員会

委員長 後藤 通子

副委員長 森 正慶

委員

滑川 友理 須田 浩和 土田記代美

佐藤 昭雄 高倉富士男 大津 亮一

渡辺 政明 栗原 文隆 安藏 栄

田口 米蔵

編集後記



水戸市マスコットキャラクター

「みとちゃん」

今定例会では、コロナ禍や国際情勢などの影響により原油価格・物価高騰が進み、厳しい生活状況にある市民・事業者を支援するために提出された補正予算等について、活発な議論を行いました。また、令和3年度決算についても慎重に審査を行いました。

引き続き感染症対策に注力しながら、安心・安全なまちづくりと地域経済活動の回復に取り組んでまいります。[佐藤 昭雄 記]